

# アスパラガスにおけるIPMの実践 (長崎県壱岐市JA壱岐市アスパラ部会の取組)

## 成果のポイント

アスパラガスにおけるIPMの実践により、化学農薬の使用量削減に加えて、作業時間の削減、商品化率の向上も実現。

## 【IPMとは？】

様々な防除技術を組み合わせた農薬に過度に依存しない防除体系

## 【取組の背景】



- 化学肥料・化学農薬の使用を控えた農作物への消費者ニーズの高まり。
- 難防除病害虫の発生による防除方法の見直しの必要性。



## IPMを栽培体系に導入！

## 【取組の概要】

### 【病害虫の発生しにくい環境作り】

- ・防草シートによる雑草の発生抑制
- ・シルバーマルチの設置による害虫の侵入抑制



除草シート



### 【防除技術の導入】

- ・フェロモントラップによる害虫の誘引・捕獲
- ・黄色防蛾灯による蛾の侵入抑制



黄色防蛾灯の夜間点灯



### 【防除対策の地域における拡大】

- ・防除記録の作成による防除対策の検証
- ・研修会による防除技術に対する農家の理解の促進



IPMIに関する研修状況

## 【取組の具体的な効果】

- アスパラガスに適用できるIPMの確立。
- 農薬の使用量の削減(6回から半分以下)により、農薬費・作業時間の削減。
- 病害虫の被害が減少し、商品化率向上。

## 【IPM実践農家の声】

- ・夏季の農薬散布は、大変な労力を要していたが、散布回数の軽減により、農家の負担が減った。
- ・薬剤散布の経費低減により、生産コストが削減できた。